

# きょうさいだより



佐世保共済病院写真コンテスト作品 優秀賞 久田 重一氏【佐々川源流】

## 理 念

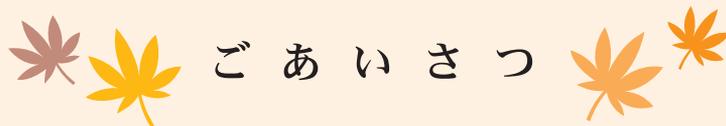
博愛の精神  
人の和  
自己研鑽

## 目 標

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療をめざします。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療をめざします。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合う心をもって診療に努めます。

## I N D E X

● 院長挨拶、診療部長就任のあいさつ	p.1
● 「佐世保共済病院市民公開講座(8月9日)」の報告、病棟紹介	p.2
● 診療活動の現況	p.3
● 新採用医師の紹介、トピックス	p.5
● 職場紹介、トピックス、編集後記	p.6
● 外来診療担当表	p.7



ごあいさつ

院長 福井 仁士

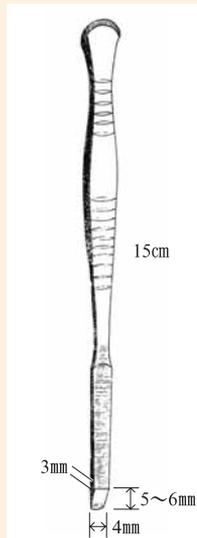
ふくい まさし



### 脳腫瘍手術事始め

外科手術は19世紀後半に欧州において目覚ましい進歩を遂げましたが、脳の手術の開拓はずっと遅れました。脳腫瘍の手術に世界ではじめて成功したのは、1887年英国のVictor Horsleyといわれています。日本では、1905年(明治38年)現在の九州大学第一外科の創始者である三宅速(ミヤケハヤリ)先生が初めて脳腫瘍摘出に成功しています。

この患者さんは、佐世保に住む27歳の兵器製造所勤務の青年でした。症状は5年前から生じてきた頭痛、右下肢の知覚鈍麻と右足から始まるジャクソン型てんかんであり、症状から腫瘍が左大脳の下肢運動を司る部分に存在すると診断されています。当時はまだCTスキャンや血管撮影などの画像診断がまったくなかった時代です。しかし大脳の運動野の位置決めは頭皮上の計測からできるようになっていました。三宅先生は、その計測法により開頭手術を行い、脳腫瘍の摘出に成功しておられます。頭蓋骨を開けるために、図のようなノミを使っておられます。



手術後軽い跛行と右下肢の知覚鈍麻が残りましたが、1年後の患者さんからの手紙では数里の歩行にも耐えうるとのことでした。この症例は明治41年の日本外科学会雑誌に報告され、また、明治43年のドイツの外科雑誌に掲載され、世界に知られるようになりました。三宅速先生は、いくつかの脳や脊髄疾患で日本初の手術を行っておられますが、胃癌や胆石の外科においてさらに大きな業績を残しておられます。

三宅速先生御夫妻は、昭和20年6月29日早朝岡山市の米軍の空襲により防空壕の中で死亡されました。奇しくも、同じ日の早朝に佐世保の空襲が行われております。脳腫瘍手術事始めと佐世保の関わりを書いてみました。

### 診療部長就任のごあいさつ

脳神経外科部長 山川 勇造



4月から診療部長の任を仰せつかりました。現在、医療制度改革のまっただ中にありその職責を全うできるか不安であります。職員の皆様と力を合わせて努力していく所存です。

国内医療の問題点として、患者の自己負担増とその影響、新臨床研修医制度の発足、本年春先から世界で問題となったSARSへの今冬の対応などがあり、県・市レベルでは救急メディカルコントロール体制への当院の参画を如何にするかがあります。

我が病院についても、病院機能評価を受ける為の条件づくりの一環として診療録管理システムの実施、オーダリングシステムの稼動開始、さらに病床の一部40床を療養型慢性期病床へ移行する為の改築工事と目まぐるしく変化しています。

このような中、医師をはじめ各職場のスタッフは新システムに一日も早く慣れるべく努力を続けています。また、事務系職員によって続けられている毎早朝の病院周辺のゴミ・空き缶拾いに象徴されるような地道な病院環境づくり、患者さんへのより早い対応などに努めて参りたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

- 出身地 福岡県
- 昭和45年 長崎大学卒業
- 主な職歴
  - ・昭和48年 九州大学脳神経外科
  - ・昭和53年 宮崎医科大学脳神経外科
  - ・昭和58年 県立宮崎病院脳神経外科
- 専門領域 脳神経外科全般
- 所属学会
  - 日本脳神経外科学会
  - 日本脳卒中の外科学会
  - 日本小児神経外科学会など

8月9日当院主催の第3回市民公開講座が市内のイベントホール「アルカスSASEBO」にて開催されました。今回は「消化器外科の現状と未来」というメインテーマの下、国内の第一線で活躍中の専門家5名による講演が行われました。

まず九州大学第2外科の前原喜彦教授は「食道および胃の外科」というテーマで手術治療の基本的な方法から、ロボット工学を応用した鏡視下のマジックハンドによる低侵襲手術に至るまで分かりやすく紹介されました。次いで九州大学第1外科・田中雅夫教授は膵臓の癌治療の話を中心として、突然発症する糖尿病と膵臓癌の関連性について強調されました。西諫早病院の古川正人、消化器病センター長からは五島に多い肝内結石の疫学的背景についてのお話、又、当院の江里口直文外科部長と長崎大学の兼松隆之教授からはそれぞれ大腸と肝臓の癌治療を中心とした講演をして頂きました。

当日は折悪しく台風10号の影響で名古屋大学から御来演予定の二村雄次先生が欠席となるなどのハプニングがありましたが、一般市民の方々を中心とした多くの熱心な参加者からは、大変有意義な企画であったとの評価の声を頂きました。



講演中の前原喜彦教授

## 6階北病棟職場紹介

病棟看護師長 増田 和子

6階北病棟は、内科31床、脳神経外科15床、計46床の混合病棟です。

スタッフは、看護師20名、看護助手4名ですが、看護師は、この中から脳神経外科外来勤務を兼ねており、3名のベテランナースが脳神経外科外来の顔として交代で対応しています。

スタッフの年齢構成は、20代9名、30代7名、40代以上8名(うち助手4名)となっており、個性あふれる集まりで、とにかく明るい職場です。

毎週火曜日の午前中は、福井院長、山川部長、濱田医長による脳神経外科の総回診、二週間に1回の林田内科部長による内科総回診があり、患者さんは楽しみにされています。

水曜日は脳神経外科の手術日であり、深夜準夜は決して多いとはいええないスタッフの中から3人体制にして対応しています。

当病棟は、ADL面での全面介助を要する患者さんが多く、片手に手袋、片手に清拭タオルを持って2時間毎のおむつ交換、体位変換に励んでいます。また、「可能なら、清拭よりもシャワー介助を…」をモットーに、褥創発生ゼロを合言葉にして、患者さんへの満足の向上のために、スタッフ全員で頑張っております。



## I はじめに

当院に脳神経外科が開設されてからすでに3年が過ぎ、4年目も半ばになりました。この間福井先生が院長としてお見えになり、紹介患者も増えました。それまでは当院に脳神経外科がなかったため、救急、特に頭部外傷や脳卒中に代表される救急患者が少なかったようです。脳血管内治療、ガンマナイフなど先端治療は今後の課題ですが、脳腫瘍、脳卒中、脊椎・脊髄疾患、頭部外傷や小児神経外科等についてはオーソドックスな治療を行い、マンパワーの面で制約がある中でも全国レベルの成績を挙げています。

## II 当科スタッフの紹介

福井院長は九州大学時代からオールラウンドプレーヤーですが、特に脳腫瘍の治療が専門です。モヤモヤ病については厚生省の難病研究班班長を歴任されました。山川もオールラウンドプレーヤーで特別の専門はありませんが、脳・脊髄腫瘍、脳血管、小児奇形、外傷から脊椎と脊髄内病変までなんでもやります。今やなんでもモニター下手術の時代となりつつあり、福井院長にスタッフ増をお願いしているところです。濱田医長は働き盛りの脳神経外科学会認定専門医で、腫瘍が専門ですが脳虚血性疾患と血管造影など診療に精を出しています。最近では脊椎の手術も手がけています。



## III 脳血管疾患

1) 脳虚血性疾患患者は高齢化とともに増加していますが、最近では頸部頸動脈のアテローム硬化(粥腫)により一過性脳虚血発作を生じ、頸部内頸動脈内膜剥離術の必要な患者さんが増えていきます。放置しておくと脳梗塞になってしまいます。この2年で4名の手術をしました。脳梗塞は以前より治療成績が上がってきています。CT、MRIやSPECT等の新しい診断機器、治療薬の進歩および早期のリハビリが効果を上げていていると思います。

2) クモ膜下出血の治療は大きなテーマです。脳動脈瘤が破裂しクモ膜下出血を生じると、およそ1/3が手術の対象とならず死亡し、1/3は手術後も生活に支障を残し、1/3が手術後に社会復帰するのがおおよその成績です。このようなクモ膜下出血の予後は、出血の程度がひどいほど悪くなります。最近未破裂の状態で見つかるため、脳ドックを受ける方が増えてきています。特に血縁にクモ膜下出血を生じた方がいる場合は、脳動脈瘤を有している率が高くなります。クモ膜下出血の症状は突然おこるひどい頭痛であり、このような場合はすぐに脳神経外科にご連絡下さい。

3) いわゆる高血圧性脳内出血は以前ほど手術の対象になることはありません。

4) モヤモヤ病は小児型(虚血型)と成人型(出血型)がありますが、当科ではこれまで2名の小児モヤモヤ病患者を治療(血管吻合術)し結果も上々です。

## IV 脳腫瘍(脊髄腫瘍含む)

基本的に全ての脳・脊髄腫瘍を取り扱っています。腫瘍には良性と悪性があり髄膜腫、聴神経腫瘍、脊髄腫瘍などの良性腫瘍は手術のみで良好な成績を得ています。悪性腫瘍は現在も治療困難なものもありますが、化学療法が有効なものも出てきました。

## V 脊椎・脊髄疾患

脊椎は一般に整形外科の領域と思われがちですが、最近の脳神経外科医は脊髄のみならず脊椎疾患にも積極的に取り組んでいます。変形性頸椎症・腰椎症や椎間板ヘルニアだけでなく脊柱管狭窄症に対する椎弓形成術・開窓術なども行っています。また、広範な頸椎後縦靭帯骨化症に対しては腸骨移植にチタンプレートなどを応用した前方除圧固定術なども手がけています。しかし、腰椎迂り症や側弯変形に対する固定手術は専ら整形外科にお願いしています。

## VI 機能外科(顔面痙攣・三叉神経痛)

病側の耳介後方に小開頭を行い、血管により圧迫された脳神経(顔面神経や三叉神経など)の除圧術を行っています。殆んどの患者さんに満足してもらっています。顔面痙攣では適応次第でボツリヌス毒素注射による治療も行っています。

## VII 小児神経外科

本院には産科・小児科とNICUがあり大活躍中ですが、不思議なくらいこの3.5年間に1例も脊椎披裂の子供さんがありませんでした。妊婦に葉酸を服用させると脊椎披裂の予防になることが指摘されており、その効果が表れてきたのでしょうか。最近では腰仙部脊椎披裂の子供さんは手術により歩行もでき、普通に近い学校生活が送れる例もあります。我々は出生当日に緊急で嚢胞修復・神経形成術を行っています。

## VIII 終わりに

脳神経外科は近年の30年間ほどで著しく進歩してきました。脳、脊髄、末梢神経の病気が疑われる場合、ご遠慮なくご相談下さい。

(表) 平成12年～平成14年の最近3年間の手術内容内訳

手術内容	3年間の手術件数
脳腫瘍摘出術	34
脊髄腫瘍摘出術	3
脳動脈瘤根治術	37
脳動静脈奇形摘出術	6
脳内血腫除去術	11
脳虚血手術	
外頸-内頸動脈吻合術	4
内頸動脈内膜剥離術	3
頭部・脊椎外傷手術	14
慢性硬膜下血腫除去	38
脊椎・脊髄除圧・固定術	41
神経・血管減圧術	6
先天奇形手術	8
末梢神経減圧・転位術	4
神経内視鏡(第三脳室底開窓術)	2
その他	35
合計	246

### 診療案内

#### ● 外来診療日

福井; 月、水

山川; 木、金

濱田; 月、木

急患はお電話頂ければいつでも対応します。

手術日: 毎週水曜日



## 新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年度 ②在籍医局 ③専門領域 ④出身地 ⑤趣味・その他一言



か ね こ た け お  
[内科] 金子武生

- ①九州大学・昭和61年度
- ②九州大学 内科
- ③循環器
- ④山口県
- ⑤今年はタイガースが好調なので天変地異が起こらないか心配です。



こ に し けん い ち  
[眼科] 小西健一

- ①愛知医科大学・平成7年度
- ②福岡大学 眼科
- ③白内障・眼科一般
- ④福岡県
- ⑤小林医師、眼科スタッフと共に頑張っていますので宜しくお願いします。



く が なお ゆ き  
[整形器科] 久我尚之

- ①九州大学・昭和61年度
- ②九州大学 整形外科
- ③脊椎外科・外傷
- ④福岡県
- ⑤ハーレーダビットソンでツーリングを楽しんでいます。



まつ お とも ひろ  
[泌尿器科] 松尾朋博

- ①山形大学・平成12年度
- ②長崎大学 泌尿器科
- ③泌尿器科一般
- ④西彼杵郡
- ⑤いつもクールです。よろしくお願いします。



て ら も と ま さ お  
[整形外科] 寺本全男

- ①九州大学・平成6年度
- ②九州大学 整形外科
- ③関節リウマチ・整形一般
- ④宮崎県
- ⑤おいしい魚を食べまくりたいと思います。



と く と み ゆ き  
[小児科] 徳富友紀

- ①佐賀医科大学・平成13年度
- ②長崎大学 小児科
- ③小児一般
- ④佐世保市
- ⑤久しぶりの地元です。



ほ う じ ょ う み の る  
[麻酔科] 北條美能留

- ①長崎大学・平成6年度
- ②長崎大学 麻酔科
- ③麻酔・ペインクリニック
- ④長崎市
- ⑤子供達と一緒に初めての佐世保を満喫します。



た な か お さ む  
[小児科] 田中 撰

- ①大分医科大学・平成5年度
- ②長崎大学 小児科学教室
- ③小児一般、小児アレルギー疾患
- ④長崎市
- ⑤涼しい病院で、今夏は助かりました。今後とも宜しくお願い致します。



は ら く ち そ う い ち ろ う  
[内科] 原口総一郎

- ①佐賀医科大学・平成7年度
- ②佐賀医科大学 腎臓内科
- ③腎疾患
- ④大村市
- ⑤ゴルフ、テニス、剣道  
剣道は5年ぶりにはじめます。



まつ お と し ひろ  
[外科] 松尾敏弘

- ①久留米大学・昭和63年度
- ②久留米大学 第一外科
- ③呼吸器外科
- ④佐賀県
- ⑤いつも笑顔をもっとに

## トピックス「医局会主催の納涼会」

医局幹事 濱田康宏

7月31日に、医局会主催の納涼会がありました。今年初めてパルクィーンを貸し切って行い、多くの看護師を招いて大変盛り上がりました。幸い天気にも恵まれ、ビールを片手に夕刻の九十九島の素晴らしい景色を堪能できました。



**Q** どんな職場ですか？

**A** 病院施設の総合メンテナンスを行っています。業務内容としてはボイラーの点検、空調機器の整備、院内設備の補修点検、医療用廃棄物・一般ゴミの回収分別、花壇の手入れ、草刈り作業などを行っています。男性4名、女性2名の職場です。

**Q** 気をつけていること、工夫していることは？

**A** 大きな台車を使う医療用廃棄物・一般ゴミの回収時間が患者さんの込み合う時間帯と重なるため、接触事故などがないよう気をつけています。また、廃棄物は専門業者に回収してもらいますが、トラックに積みやすいようにダンボールの大きさ、形などを工夫しています。

**Q** 仕事上、苦勞していることは？

**A** 少し前までは医療廃棄物やゴミの分別に大変苦勞していましたが、最近は院内各部署で細かく分別するように指導していただいているため業務がスムーズになりました。今後もゴミ分別にご協力をお願いします。

**Q** うれしかったことは？

**A** 各部署の依頼で棚、作業台などを製作することがあるのですが、納品する時に「こういうのが欲しかった!」と喜ばれた時がうれしい時です。また、花壇の花で少しでも患者さんの心を和ませることができればうれしいですね。

**Q** 最後に一言

**A** 常に安全第一をモットーに作業を行っています。今後も一日一日事故がないよう努力して行きたいと思います。



(インタビュー／編集委員:森 博紀)

**TOPICS** オーダリングシステム始まる

電算化推進委員長  
林田一洋

9月1日より共済病院は医療サービスの迅速化に対応するためにコンピュータを用いたオーダリングシステムを開始致しました。一階に設置された自動再来受付機による事務手続きの簡素化、医師や看護師がコンピュータを使用して検査や薬の指示を行っている姿を御覧になって、皆さんはシステムが変わったことにお気づきになったことでしょうか。今回は血液検査や薬の処方に関して新システムが採用され、来年1月に全てがコンピュータ化されます。

より良い医療サービスが提供できるよう全職員は新システムの研修を重ねて参りました。しかしまだ不慣れな点があつて御迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、誠心誠意努めて参ります。受診されて勝手が変り戸惑われることがあれば、御遠慮無くスタッフにお声かけ下さい。



編集後記

インターネットの普及により、電子図書なるものが増えてきました。電子図書は、本屋さんに足を運ばなくてもパソコンでダウンロードするだけで、読みたい本を手に入れることができる便利なものです。しかし、本自体がもつぬくもりや重さを感じるのも読書の楽しみ方の一つだと思います。みなさんもお気に入りの本を片手に、秋の夜長を過ごされてみてはいかがでしょうか。

編集委員 谷口友佳子



科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後										
内科	部長	林田 一洋			●		●				●		肝臓・消化器疾患	
	医長	福山 邦昭	●				●		●				肝臓・胆嚢・膵臓疾患	
	"	佐藤 浩信			●		●				●		消化器疾患・膠原病	
	"	川崎 千誠	●		●				●				血液疾患	
	"	野口 誠司			●				●		●		肝臓・胆嚢・膵臓疾患・消化器疾患	
	"	松見 里美	●				●				●		消化器疾患	
	"	金子 武生	●				●				●		循環器疾患	
	医員	大塚 容子	●						●		●		腎臓疾患	
	"	村上 謹士郎			●				●		●		循環器疾患	
	"	石橋 貞利	●		●				●				消化器疾患	
	"	久間 文明			●		●		●				循環器疾患	
	"	原口 総一郎			●		●						腎臓疾患	
	"	松永 圭司	●								●		消化器疾患	
	呼吸器外来				●				●		●	田中・松村・藤澤の3名で担当。金曜の午後は予約のみ。		
	糖尿病教室				●		●		●		●	詳細は内科外来へお尋ね下さい。		
小児科	部長	岡 尚記	●		●						●		小児一般	
	医長	田中 撰	●				●		●				小児アレルギー疾患	
	医員	原 美智子					●				●		気管支喘息	
	"	徳富 友紀			●				●					
		乳児健診				●								火曜PM1:00~
		慢性外来・神経外来							●					水曜PM2:00~
	喘息外来								●				木曜PM2:00~	
外科	外科顧問	松永 章							●				内視鏡下外科	
	部長	江里口 直文 (●)					●			●			※月曜は新患のみ受付	
	医長	松尾 敏弘	●				●						呼吸器外科・乳腺外科	
	医員	朽網 留美子			●				●				一般外科・消化器外科	
	"	田中 厚寿	●				●						血管外科	
	"	川畑 方博			●						●		一般外科・腹部エコー	
	"	原田 洋			●						●		一般外科・消化器外科	
	"	木村 祐介 ノーマン							●				一般外科・消化器外科	
"	木崎 潤也	●										一般外科・消化器外科		
脳神経外科	院長	福井 仁士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科	
	診療部長	山川 勇造							●		●		小児の神経外科、顔面麻痺	
	医長	濱田 康宏	●						●				三叉神経痛の外科手術	
整形外科	部長	萩原 博嗣	●				●			●			骨関節疾患全般	
	医長	久我 尚之	●		●				●				・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術	
	医員	芳田 辰也	●		●					●			・膝・肩・手・肘の鏡視下手術	
	"	寺本 全男	●		●		●				●		・脊椎外科、腰部疾患手術	
	"	佐々木 和司					●		●		●		・肩・手の外科(断肢再接着手術を含む)	
"	齊田 義和			●		●		●		●		・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など		
形成外科	医長	芳田 辰也	●		●					●			先天性奇形、顔面外傷、瘢痕形成、再建外科	
皮膚科	医長	井上 卓也	●	●	●		●		●	●	●		・湿疹、虫刺症、アレルギー性皮膚炎	
	医員	小楠 優子	●	●	●		●		●	●	●		・皮膚感染症・爪疾患、毛疾患 ・皮膚小手術(粉瘤、陥入爪など)(火・水・金)	
泌尿器科	部長	山田 潤	●				●			●			尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患	
	医長	森光 浩	●						●		●		体外衝撃波結石破砕術(ESWL)	
	医員	今里 祐之			●		●						尿失禁、尿路感染	
	"	松尾 朋博			●				●					
産婦人科	副院長	木寺 義郎	●				●				●		産科・周産期医療	
	医長	鶴地 伸宏	●		●		●		●				不妊症・内分泌疾患	
	医員	大塚 未砂子	●		●		●		●		●		体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術	
	"	中山 幾恵			●		●		●		●		更年期、婦人科疾患	
眼科	医長	小西 健一	●		●		●	●	●	●			白内障手術・眼内レンズ挿入術、緑内障手術	
	医員	小林 武史	●		●		●	●	●	●			硝子体手術、網膜剥離手術、翼状片手術 眼瞼手術、レーザー光凝固術など ※水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)	
耳鼻咽喉科	医長	後藤 弘毅	●		●		●		●	●			アレルギー性鼻炎のレーザー治療	
	医員	林田 精一郎	●	●	●		●		●	●			小児の耳鼻咽喉科疾患 耳・鼻・咽喉頭・甲状腺などの手術	
放射線科	医長	大熊 一彰	●						●				MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	有川 俊二								●			消化管造影、内視鏡検査	
	"	末藤 大明											内視鏡下手術(ポリープ切除)	
	"	末藤 伸子					●							
麻酔科	医長	深野 拓	●		●		●		●		●		※月~金午前ペイン外来	
	医員	北條 美能留	●		●		●		●		●		※月~金午後は手術麻酔	
	"	稲澤 昭子	●		●		●		●		●			
歯科 口腔外科	医長	平木 昭光	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科・口腔外科 ※再来は予約診療。新患は午前受付	
神経内科	医員	黒川 智美									●		神経内科疾患一般	